

令和元年度

# 学級要覧



青梅市立第一小学校

ぴあじえ学級

1 名 称 青梅市立第一小学校 ぴあじえ学級

2 所在地 〒198-0083 東京都青梅市本町223  
電 話 0428-22-7261  
学級直通 0428-23-8388  
ファクシミリ 0428-22-2141

3 職 員 校 長 鎌田 博志  
副校長 曾我 泉  
担 任 4名  
講 師 図工：1名  
音楽：1名  
介護員 3名

4 沿 革 昭和49年 訪問学級として発足する。  
昭和53年 ぴあじえ学級となる。  
昭和61年 宿泊学習（第1回）を実施する。  
平成 9年 2学級編制になる。  
平成11年 車椅子用にトイレを洋式化し、手すりを設置する。  
平成13年 体育館入り口にスロープを設置する。  
平成14年 3学級編制になる。  
平成17年 4学級編制になる。  
平成19年 3学級編制になる。  
平成20年 2学級編制になる。  
平成22年 1学級編制になる。  
平成25年 2学級編制になる。  
平成28年 3学級編成になる。

5 教育目標および指導の重点

(1) 学校の教育目標（校訓）

**『強く 正しく みんな仲よく』**

(2) 学級の教育目標

- ・基本的な生活習慣を確立し、身辺自立を図る。
- ・社会生活に必要な知識・技能・態度を身に付ける。
- ・自らの課題を克服し、改善できるような心と体を育てる。

### (3) 基本方針

#### ①個に応じた指導の工夫

一人一人の児童の実態を把握し、課題を明らかにして指導に当たるために、個別指導計画を作成して指導する。また、保護者と担任が相談しながら学校生活支援シートを作成し、異校種間の連携と連続性を図る。

#### ②指導体制の工夫

全体指導、小グループ指導、個別指導などの指導体制を工夫し、一人一人の児童の障害の特性や能力に合った指導ができるようにする。

#### ③言語活動の充実

学習の中で、友達の考えをよく聞こうとしたり、自分の考えを伝えようとしたりする態度を育成し、言語活動の充実を図る。

#### ④心の教育の推進

友達との多様な関わりを通して、相手の立場や気持ちを考えることで、思いやりや親切な行為の意義を実感できる指導の充実に努める。

#### ⑤社会性の育成

遊びやゲームの中でルールを理解したり、人との関わり方を学んだりすることを通して、社会性の育成を図り、充実した日常生活を送ることができるようにする。

#### ⑥安全指導の充実

災害時の避難の仕方や下校の仕方、緊急地震速報等の避難の仕方など、児童が安全に行動できるよう安全指導の充実を図る。

#### ⑦人間関係の育成

交流および共同学習において人との関わりを通して、相互理解を深め、認め合い、受け入れ合う人間関係を築き、人権感覚を高めることで共に協力し合って生きていくことができるようにする。

#### ⑧開かれた学級づくり

学校行事や学校公開日の充実を図り、児童、保護者、および地域の期待と信頼に応える学級づくりを推進する。

### (4) 指導の重点

#### ①各教科、特別の教科 道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

##### ア 各教科

- ・国語科・算数科においては個別指導を中心に行い、日常生活に必要な基本的な知識・技能の向上を図り、自立への意欲や態度を養う。
- ・文字の読み書きと計算のまとめテストを実施して、一人一人の課題に応じた学習内容の定着を図る。
- ・日常生活に必要な知識・技能を身に付け、金銭や時間等の知識を日常生活の中で生かせるようにする。
- ・自分の考えをもち、考えたことを相手に分かるように伝える言語活動を取り入れた授業を意図的・計画的に実施する。

#### イ 特別の教科 道徳

- ・児童の発達段階に合わせた指導内容を計画し、道徳的な見方や考え方をもちつことのできる態度を養う。
- ・教科・領域の指導や学校行事、児童の日常的な体験を通して、教育活動全体で効果的に道徳性を養う。

#### ウ 外国語活動

- ・外国語を使った簡単なゲームや歌に取り組み、外国の言語や文化に慣れ親しむ。

#### エ 総合的な学習の時間

- ・学区域を中心とした地域の環境を活用し、地域を生かした体験活動を通して、身近な課題に主体的に取り組む態度を養う。
- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進として、諸外国の名前・国旗、生活習慣などについて調べ、国際理解の意識を高める。
- ・『Welcome to Tokyo』『We Can』を活用して、東京や日本のことについて関心をもち理解を深める。
- ・外国の生活や文化について調べたり、外国の料理を作ったりして、『世界ともだちプロジェクト』を推進する。

#### オ 特別活動

- ・クラブ活動、委員会活動、児童会活動を通して、集団や社会の一員として参画する意識を育てる。
- ・学校全体の活動に参加することで、様々な人と関わり、豊かな人間関係の形成を目指す。

#### カ 自立活動

- ・日常生活のリズムの確立や生活習慣のスキルの習得を図り、身辺自立を目指す。
- ・感情のコントロールの仕方や、自分が感じていることの表現の仕方を学習して情緒の安定を図り、よりよい人間関係をつくろうとする態度を養う。

#### ② 特色ある教育活動

- ・宿泊学習や調理実習などの体験学習を通して、集団行動、日常生活の自立、公共の場での過ごし方を体験させ、生活経験を広げる。
- ・太鼓の演奏を通して伝統文化に触れ、精神の安定を図るとともに身体面を鍛錬していく。さらに、太鼓の演奏を校内や地域で披露し、交流を図る。
- ・縦割り班活動や学校行事、給食交流などを通して、通常の学級の児童との交流を深め、共に学んだり助け合ったりする心や態度を養う。
- ・日常的な清掃活動を通して、根気強く仕事に取り組むことの大切さを知り、勤労意欲を養う。

#### ③生活指導

- ・基本的な生活習慣や礼儀を身に付け、規則を尊重する態度を養い、規範意識を育てる。

#### ④キャリア教育・進路指導

- ・挨拶、返事、正しい言葉遣いなどを身に付け、コミュニケーション能力を高めていく。
- ・自分の長所に気付くとともに集団の中での自分の役割を自覚し、将来に向けての夢や希望をもった生活が送れるようにする。
- ・自分の進路選択のために、中学校の特別支援学級の生徒との交流を通して自己理解を図る。

(5) その他の配慮事項等

- ・個々の能力に応じてグループ別や個別の指導を行う。
- ・関係諸機関との連携を図り、児童の指導に役立てる。
- ・学校行事、特別活動、児童会活動を通常の学級と一緒に行う。
- ・他校との合同行事や連合行事への積極的な参加を図る。
- ・特別支援教育コーディネーターと連携し、校内の特別支援教育を推進する。

令和元年度 時間割

	月	火		水	木	金	
朝学習	朝会	国語			朝読書	日常生活	
1	日常生活	日常生活		日常生活	日常生活	日常生活	
2	国語	体育		道徳	体育	音楽	
3	体育	図工 1組	図書 2・3組	算数／国語	算数	生活 単元 学習	総合的な 学習の 時間
4	算数		算数 2・3組	音楽	国語		
5	生活単元学習	図書 1組	図工 2・3組	生活単元学習	生活単元学習 (太鼓)	学級会	
6	クラブ 委員会	算数 1組				算数	生活単元学習

## 令和元年度 年間行事予定

月	学校行事	学級行事
4	8日 始業式・入学式 11日 発育測定 17日 1年生をむかえる会 19日 離任式 27日 学校公開・PTA総会	15日 保護者会
5	5日 開校記念日（146周年） 8日 引渡し訓練 9日～16日 家庭訪問・個人面談 26日～28日 日光移動教室（6年） 31日 集団下校	17日 春の交流会（三小・四小）
6	10日 水泳指導開始 14日 学校公開 15日 学校公開・セーフティ教室	
7	19日 終業式 22日～29日 夏季水泳指導	3日～4日 宿泊学習（埼玉県秩父市・長瀬方面） 12日 保護者会
8	26日 始業式	
9	28日 運動会 30日 運動会振替休業日	
10	23日 全校オリエンテーリング	
11	1日 学校公開 2日 学校公開・道徳授業地区公開講座	29日 秋の交流会（三小・四小）
12	25日 終業式	3日（保護者会）
1	8日 始業式 17日～18日 展覧会	
2		14日 合同お別れ遠足（三小・四小） 28日 保護者会・卒業を祝う会
3	6日 6年生を送る会 24日 卒業式 25日 修了式	

# ぴあじえ学級の誕生

創立140周年記念誌「わたしたちの青梅一小」より抜粋

## 訪問学級の誕生

昔は、発達の遅れや体の不自由さがあつたり、大変な病気があつたりすると、家にいて学校には行かない子が多くいました。そこで先生が、学校に通学できない児童の家に行つて、勉強を教えました。それが、訪問学級です。昭和49年4月のことです。訪問学級の児童は2名で、訪問学級は5年間続きました。

## ぴあじえ学級の誕生

昭和53年4月に、現在の「ぴあじえ学級」が開設され、5名の児童がぴあじえ学級に入ってきました。当時、担任をされた先生のお話によると、運動会など、いろいろな行事に通常学級の子といっしょに参加したそうです。みんなと仲良くして楽しく学校生活を送ったそうです。

### ぴあじえ学級の「ぴあじえ」って何？

「ぴあじえ」という名前は、スイスの有名な心理学者の名前です。人の名前を付けた学級名は、とても珍しいです。外国の人の名前ですから、カタカナで書くのが普通ですが、みんなが読めるように平仮名にしました。聞きなれない名前ですので、とても強い印象を受けます。この名前をつけた人の願いが込められています。ピアジェという人がどんな人か調べてみるのもおもしろいかもしれませんね。

